

注 3

大学番号：073

[平成22年度設置]

事前伺い

計画の区分：研究科以外の教育研究上の基本となる組織の専攻
の設置

九州大学大学院工学府水素エネルギーシステム専攻

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 九州大学
平成23年5月1日現在

作成担当者

九州大学総務部法令審議室法規係

カカリチョウ ニシ ムラ マサル
係長 西村大

電話番号 092-642-2108

(夜間) 092-642-2108

F A X 092-642-2113

e-mail syshoki@jimu.kyushu-u.ac.jp

担当部局(課)名

工学部等総務課庶務係

シュニン マツフジ タツヤ
主任 松藤 達也

電話番号 092-802-2708

(夜間) 092-802-2708

F A X 092-802-2712

e-mail kossyomu@jimu.kyushu-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は事前伺い手続き時の設置計画の概要の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「 大学大学院 . . . 」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載いただき、
その下欄に()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 大学 学部
(学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「 大学 学部」

・学部の学科の設置の場合：「 大学 学部 学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「 短期大学 学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「 大学大学院 研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「 大学 学部 学科(通信教育課程)」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成23年3月11日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書」
の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	8
3	既設大学等の状況	15
4	教員組織の状況	17
5	その他全般的事項	19

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人九州大学

(2) 大学名

九州大学

(3) 大学の位置

〒819-0395
福岡県福岡市西区元岡744番地
(〒812-8581
福岡県福岡市東区箱崎6丁目10番1号)

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・様式は, 平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(4) - 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
工学府 水素エネルギーシステム専攻 (修士課程) 修士(工学)	2	30	60	基礎となる学部名等 工学部機械航空工学科

- (注)・「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) - 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成23年度		平均入学定員超過率	備考
	平成22年度	平成23年度	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	30 (-) [-]	30 (-) [-]	30 (-) [-]	30 (-) [-]	1.10	
志願者数	120 (-) [6]	- (-) [-]	162 (-) [6]	- (-) [-]		
受験者数	118 (-) [6]	- (-) [-]	153 (-) [4]	- (-) [-]		
合格者数	33 (-) [1]	- (-) [-]	41 (-) [3]	- (-) [-]		
B 入学者数	30 (-) [1]	- (-) [-]	36 (-) [2]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B / A	1.00	1.20				

- (注)・()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・[]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入**してください。
 ・「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・「平成20~22年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) - 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度 平成 2 2 年度		平成 2 3 年度		備 考
	春入学	秋入学	春入学	秋入学	
1 年次	[1] 30	[-] -	[2] 36	[-] -	
2 年次	[-] -	[-] -	[1] 30	[-] -	
計	[1] 30		[3] 66		

- (注) ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「 - 」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「 - 」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
 - ・ 「平成 2 3 年度」には、平成 2 3 年 5 月 1 日現在の状況を記入してください。
 - ・ 「平成 2 0 ~ 2 2 年度」には、確定した数値を記入してください。

(4) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a / b)
平成 2 2 年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [0] 0	(累積)計 [1] 30	0.0%
	うち平成 2 2 年度入学者 0人	うち平成 2 2 年度 30人	
	(主な退学理由)		

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、[当該対象年度における退学者数]を、[当該対象年度の入学者数 + 当該対象年度前年度までの確定した在学者数]で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(4) 調査対象研究科等の名称，定員，入学者の状況等

- (注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は，平成20年度開設の博士後期課程の場合（平成22年度までの3年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が2年以下の場合には欄を削除し，4年以上の場合には，欄を設けてください。）

(4) - 調査対象研究科等の名称，定員

調査対象研究科等の名称（学位）	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
工学府 水素エネルギーシステム専攻 （博士後期課程） 博士（工学）	3年	9人	27人	基礎となる学部名等 工学部機械航空工学科

- (注)・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は，「備考」に変更前的人数，変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(4) - 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成23年度		平均入学定員超過率	備考
	平成22年度	平成23年度	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	9人 (-) [-]	9人 (-) [-]	9人 (-) [-]	9人 (-) [-]	1.11	
志願者数	9 (5) [1]	3 (-) [3]	8 (4) [2]	8 () []		
受験者数	9 (5) [1]	3 (-) [3]	8 (4) [2]	8 () []		
合格者数	9 (5) [1]	3 (-) [3]	8 (4) [2]	8 () []		
B 入学者数	9 (5) [1]	3 (-) [3]	8 (4) [2]	8 () []		
入学定員超過率 B / A	1.33		0.88			

- (注)・ ()内には，社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「 - 」を記入してください。
 ・ 「社会人」については，認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には，留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「 - 」を記入してください。
 ・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は，春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は，その他の学期欄は「 - 」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については，**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出**してください。なお，計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「平成23年度」には，平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20～22年度」には，確定した数値を記入してください。

(4) - 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度 平成 2 2 年度		平成 2 3 年度		備 考
	春入学	秋入学	春入学	秋入学	
1 年次	[1] 9	[3] 3	[2] 8	[-] -	
2 年次	[-] -	[-] -	[1] 9	[3] 3	
3 年次	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	
計	[4] 12	[6] 20	[6] 20	[-] -	

- (注)・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「 - 」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「 - 」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
 - ・ 「平成 2 3 年度」には、平成 2 3 年 5 月 1 日現在の状況を記入してください。
 - ・ 「平成 2 0 ~ 2 2 年度」には、確定した数値を記入してください。

(4) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a / b)
平成 2 2 年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [0] 0	(累積)計 [4] 12	0.0%
	うち平成 2 2 年度入学者 0人	うち平成 2 2 年度 12 人	
	(主な退学理由)		

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、[当該対象年度における退学者数]を、[当該対象年度の入学者数 + 当該対象年度前年度までの確定した入学者数]で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

< 工学府 水素エネルギーシステム専攻・水素エネルギーシステムコース（修士課程） / グローバルコース（修士課程） >

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
高等専門科目 (水素エネルギーシステムコース)	水素工学概論	1前	2			4	6	4				兼2 水素基盤科目 教授の補充、准教授の教授昇任(23)
	水素製造システム	1後		2		4						兼2 水素基盤科目 教育効果向上のため兼任教員配置(23)
	水素貯蔵システム	1後		2		1						水素基盤科目
	水素利用プロセス	1前		2		1						水素基盤科目
	水素利用システム	1後		2		1	4					水素基盤科目 准教授の教授昇任(23)
	水素エネルギー社会システム	1前		2								兼1 水素基盤科目
	高圧ガス安全工学 流体物理	1前 1前	2		2							兼1 水素基盤科目 兼1 機械系科目
高等専門科目 (水素エネルギーシステムコース・グローバルコース共通)	Hydrogen Energy Engineering (水素エネルギー工学)	1前		2		4	6	4				兼2 水素基盤科目 教授の補充、准教授の教授昇任(23)
	Clean Energy Technologies (クリーンエネルギー技術特論)	1後		2		1						兼5 水素基盤科目 教育効果向上のため専任教員増、それによる兼任教員減(23)
	Fatigue Strength (疲労強度学)	1前 1後		2		1						材料・設計科目 他科目とのバランスを考慮し配当年次を変更(23)
	Tribology(トライボロジー)	1前		2		1						材料・設計科目
	Heat and Mass Transfer (熱物質移動論)	1前		2		1						兼1 熱流体科目
	Reactive Gas Dynamics (反応性ガス力学)	1前		2								兼1 熱流体科目
	Mechanical Vibration and Acoustics(振動音響工学) Computational Mechanics (計算力学)	1前 1前		2 2								兼3 機械系科目 兼1 機械系科目
先端科目 (水素エネルギーシステムコース)	水素エネルギー構造材料学	1前		2								兼1 水素基盤科目
	水素エネルギー機能材料学	1後		2		1						水素基盤科目
	水素エネルギー電気化学	1後		2		1						兼1 兼2 水素基盤科目 教育効果向上のため専任教員の補充、兼任教員増(23)
	燃料電池システム	1後		2		4	1					先端技術科目 教育効果向上のため教員配置を変更(23)
	機械損傷学	1前		2		1						材料・設計科目
	トライボロジー特論	1後		2		1	1					材料・設計科目
	先端熱工学特論	1後		2		1	1					兼2 熱流体科目 兼1 教育効果向上のため兼任教員減(23)
	エネルギー政策論 技術マネジメント	1,2前 1,2前		2 2								兼1 社会科学科目 兼1 兼3 教育効果向上のため兼任教員増(23)
先端科目 (水素エネルギーシステムコース・グローバルコース共通)	Advanced Energy Engineering (先端エネルギー特論)	1,2前		2		1	4					兼1 先端技術科目 教育効果向上のため教員配置を変更(23)
	Advanced Energy Engineering (先端エネルギー特論)	1,2前		2		1	4					兼1 先端技術科目 教育効果向上のため教員配置を変更(23)

能力開発科目	Seminar on Hydrogen Engineering (水素工学セミナー)	1前	1		6 7 9	6 5				兼2	定年退職教授の後任未補充・有期教員2名採用(22) 転出した准教授の後任未補充(22) 定年退職教授の後任及び専任教員の補充、教育効果向上のため兼任教員増(23)
	Seminar on Hydrogen Engineering (水素工学セミナー)	1後	1		6 7 9	6 5				兼2	定年退職教授の後任未補充・有期教員2名採用(22) 転出した准教授の後任未補充(22) 定年退職教授の後任及び専任教員の補充、教育効果向上のため兼任教員増(23)
	Internship for Hydrogen Engineering (水素工学インターンシップ)	1前	1		6 7 9	6 5				兼2	定年退職教授の後任未補充・有期教員2名採用(22) 転出した准教授の後任未補充(22) 定年退職教授の後任及び専任教員の補充、教育効果向上のため兼任教員増(23)
	Internship for Hydrogen Engineering (水素工学インターンシップ)	1後	2		6 7 9	6 5				兼2	定年退職教授の後任未補充・有期教員2名採用(22) 転出した准教授の後任未補充(22) 定年退職教授の後任及び専任教員の補充、教育効果向上のため兼任教員増(23)
	Communication for Hydrogen Engineering (水素工学コミュニケーション)	2前	1		6 7 9	6 5		7 5		兼2	定年退職教授の後任未補充・有期教員2名採用(22) 転出した准教授の後任未補充(22) 定年退職教授の後任及び専任教員の補充、助教の准教授昇任及び退職、教育効果向上のため兼任教員増(23)
	Communication for Hydrogen Engineering (水素工学コミュニケーション)	2前	1		6 7 9	6 5		7 5		兼2	定年退職教授の後任未補充・有期教員2名採用(22) 転出した准教授の後任未補充(22) 定年退職教授の後任及び専任教員の補充、助教の准教授昇任及び退職、教育効果向上のため兼任教員増(23)
	Investigative Study on Hydrogen Engineering (水素工学情報集約)	2前	2		6 7 9	6 5				兼2	定年退職教授の後任未補充・有期教員2名採用(22) 転出した准教授の後任未補充(22) 定年退職教授の後任及び専任教員の補充、特定有期教員採用、教育効果向上のため兼任教員増(23)
基礎科目	Fundamental Mechanical Engineering (機械工学基礎第一)	1前	2		6 7 9	6 5				兼2	定年退職教授の後任未補充・有期教員2名採用(22) 転出した准教授の後任未補充(22) 定年退職教授の後任及び専任教員の補充、教育効果向上のため兼任教員増(23)
	Fundamental Mechanical Engineering (機械工学基礎第二)	1前	2		6 7 9	6 5				兼2	定年退職教授の後任未補充・有期教員2名採用(22) 転出した准教授の後任未補充(22) 定年退職教授の後任及び専任教員の補充、教育効果向上のため兼任教員増(23)
	Fundamental Mechanical Engineering (機械工学基礎第三)	1後	2		6 7 9	6 5				兼2	定年退職教授の後任未補充・有期教員2名採用(22) 転出した准教授の後任未補充(22) 定年退職教授の後任及び専任教員の補充、教育効果向上のため兼任教員増(23)
留学生科目	Engineering Analysis (工業解析・計測特論第一)	1	2							兼1	
	Engineering Analysis (工業解析・計測特論第二)	1	2							兼1	
	Japanese Industry (日本産業特論)	1	2							兼1	

- (注)・ 事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1)授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3)未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 2	科目 38	科目 0	科目 40	科目 2	科目 38	科目 0	科目 40	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注)・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合： 1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注)・ 配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。(ただし，未開講科目があった場合は，(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注)・ 設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{} \quad 0.00\%$$

(注)・ 小数点以下第 3 位を切り捨て，小数点第 2 位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<工学府 水素エネルギーシステム専攻（博士後期課程）>

（1）授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	Tutorials on Hydrogen System A (水素システム講究A)	1		4		1	4					教育効果向上のため教員配置を変更(23)
	Tutorials on Hydrogen System B (水素システム講究B)	1		4		1	1					教育効果向上のため専任教員増(23)
	Tutorials on Hydrogen System C (水素システム講究C)	1		4		3						
	Tutorials on Material and Design A (水素材料・設計学講究A)	1		4		1						
	Tutorials on Material and Design B (水素材料・設計学講究B)	1		4		1						
	Tutorials on Material and Design C (水素材料・設計学講究C)	1		4		1						
	Tutorials on Thermofluid Engineering (水素熱流体工学講究)	1		4		1						
	Advanced Hydrogen Energy Engineering (水素エネルギー工学特論)	1	2			6	6					定年退職教授の後任未補充(22)
	Clean Energy Technologies (クリーンエネルギー技術特論)	1		2		6	6					転出した准教授の後任未補充(22)
	Seminar in Hydrogen System A (水素システムセミナーA)	2		2						1		定年退職教授の後任未補充(22)
	Seminar in Hydrogen System B (水素システムセミナーB)	2		2						1		定年退職教授の後任及び専任教員の補充(23)
	Seminar in Material and Design A (水素材料・設計学セミナーA)	2		2						1		定年退職教授の後任未補充(22)
	Seminar in Material and Design B (水素材料・設計学セミナーB)	2		2						1		転出した准教授の後任未補充(22)
	Seminar in Material and Design C (水素材料・設計学セミナーC)	2		2						2		定年退職教授の後任及び専任教員の補充(23)
	Seminar in Thermofluid Engineering (水素熱流体工学セミナー)	2		2						1		定年退職教授の後任未補充(22)
	Project Analysis (プロジェクト演習)	2	2			6	6					転出した准教授の後任未補充(22)
	International Internship (国際連携インターンシップ)	1		2		6	6					定年退職教授の後任未補充(22)
	International Internship (国際連携インターンシップ)	1		2		6	6					定年退職教授の後任及び専任教員の補充(23)
	Internship (産学連携インターンシップ)	2		2		6	6					定年退職教授の後任未補充(22)
Research Planning (水素エネルギーシステム研究企画演習)	2		2		6	6					定年退職教授の後任及び専任教員の補充(23)	

Training as Supervisor (水素エネルギーシステム指導演習)	2	2			6 5 9					定年退職教授の後任及び専任教員の補充(23)
---	---	---	--	--	-------------	--	--	--	--	------------------------

- (注)・ 事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任, 兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で, 前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し, 「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお, 昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても, 「(1) 授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし, 「(3) 未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
3	18	0	21	3	18	0	21	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注)・ 未開講である場合や, 配当年次に関わらず, 教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など, 別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに, []内に, 設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: 1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注)・ 配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。(ただし，未開講科目があった場合は，(1) 「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注)・ 設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{} \quad 0.00\%$$

(注)・ 小数点以下第 3 位を切り捨て，小数点第 2 位までを記入してください。

3 既設大学等の状況

大学の名称	九州大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次	人		倍			
文学部 人文学科	4	160		640	学士(文学) 学士(学術)	1.04	平成12年度	福岡県福岡市東区 箱崎6丁目19番1号	
教育学部	4	50		200	学士(教育学) 学士(学術)	1.08	昭和24年度	福岡県福岡市東区 箱崎6丁目19番1号	
法学部	4	200		800	学士(法学) 学士(学術)	1.02	昭和24年度	福岡県福岡市東区 箱崎6丁目19番1号	
経済学部 経済・経営学科	4	150	3年次 10	620	学士(経済学) 学士(学術)	1.06	平成12年度	福岡県福岡市東区 東区箱崎6丁目 19番1号	
経済工学科	4	90	3年次 10	380		1.09	昭和52年度		
理学部 物理学科	4	59		236	学士(理学)	1.11	昭和24年度	福岡県福岡市 東区箱崎6丁目 10番1号	
化学科	4	67		268	学士(学術)	1.04	"		
地球惑星科学科	4	48		192		1.06	平成2年度		
数学科	4	54	3年次 5	226		1.07	昭和24年度		
生物学科	4	49		196		1.10	"		
医学部 医学科	6	111		626	学士(医学) 学士(生命科学)	1.01	昭和24年度	福岡県福岡市 東区馬出3丁目 1番1号	
生命科学科	4	12		48	学士(看護学)	1.16	平成19年度		
保健学科	4	137		548	学士(保健学) 学士(学術)	1.04	平成14年度 (平成15年4 月学生受入)		
歯学部 歯学科	6	53		343	学士(歯学)	1.03	昭和42年度	福岡県福岡市 東区馬出3丁目 1番1号	
薬学部 創薬科学科	4	50		200	学士(創薬科学)	1.09	平成18年度	福岡県福岡市 東区馬出3丁目 1番1号	
臨床薬学科	6	30		180	学士(薬学) 学士(学術)	1.04	"		
工学部 建築学科	4	60		240	学士(工学)	1.06	昭和29年度	福岡県福岡市 西区元岡 744番地	
電気情報工学科	4	158		632	学士(学術)	1.07	平成8年度		
物質科学工学科	4	168		672		1.08	平成9年度		
地球環境工学科	4	150		600		1.04	平成10年度		
エネルギー科学科	4	99		396		1.07	"		

機械航空工学科	4	169		676		1.09	平成11年度		
芸術工学部							平成15年度	福岡県福岡市	
環境設計学科	4	38		152	学士（芸術工学	1.07		南区塩原4丁目	H16.4
工業設計学科	4	48		192	）	1.05		9番1号	学生受入
画像設計学科	4	38		152	学士（学術）	1.05			
音響設計学科	4	38		152		1.07			
芸術情報設計学科	4	40		160		1.04			
農学部					学士（農学）		平成10年度	福岡県福岡市東区	
生物資源環境学科	4	229		916	学士（学術）	1.06		箱崎6丁目10番1号	

- （注）・ 本調査の対象となっている大学等の設置者が、既に設置している大学の学部、学部の学科について平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
（大学院に係るものについては、記入する必要はありません。）
- ・ 事前伺い手続き書類の「設置計画の概要」に準じて作成してください。
 - ・ 「定員超過率」欄には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科の記載は不要です。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、備考欄に「平成年より学生募集停止」と記入してください。

4 教員組織の状況

<工学府 水素エネルギーシステム専攻（修士課程）>

専任教員数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
9	10	19	0	14	5	19	0	
(10)	(9)	(19)	(0)	[5]	[5]	[0]	[0]	

(注)・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
(記入例：1名減の場合： 1)

4 教員組織の状況

<工学府 水素エネルギーシステム専攻（博士後期課程）>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
9	10	19	0	11	8	19	0	
(8)	(9)	(17)	()	[2]	[2]	[0]	[]	

(注)・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成23年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
 (記入例：1名減の場合： 1)

5 その他全般的事項

< 工学府 水素エネルギーシステム専攻 >

情報提供に関する事項

設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表予定時期 (年 月 日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.kyushu-u.ac.jp/university/office/somu-bu/hourei/establish.htm>)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp
件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(大学)」としてください。